

2024年度
地域おこし協力隊
活動報告書

亘理町地域おこし協力隊
高谷 裕子 (たかやゆうこ)

自己紹介

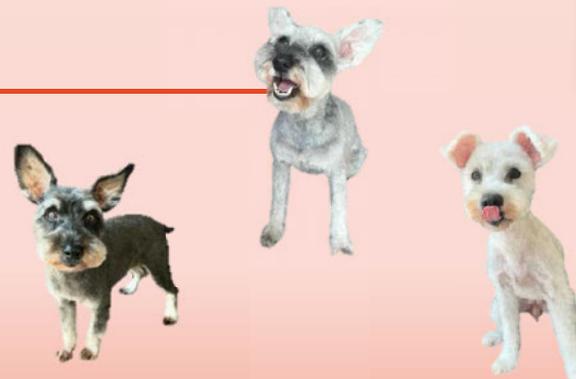
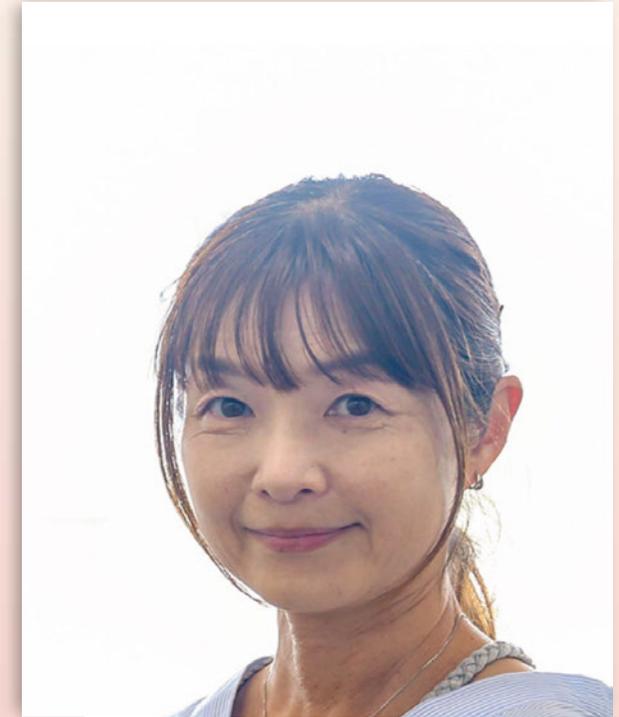
宮城県仙台市出身

『元気に！笑顔で！』をモットーに夫婦二人でメロンパンと唐揚げのキッチンカーを運営

ミニチュアシュナウザーを3匹飼っており（名前はムック・クルミ・ミルク）ほぼ毎日ワンコと共に活動

ワンコと一緒に車旅をするのが趣味

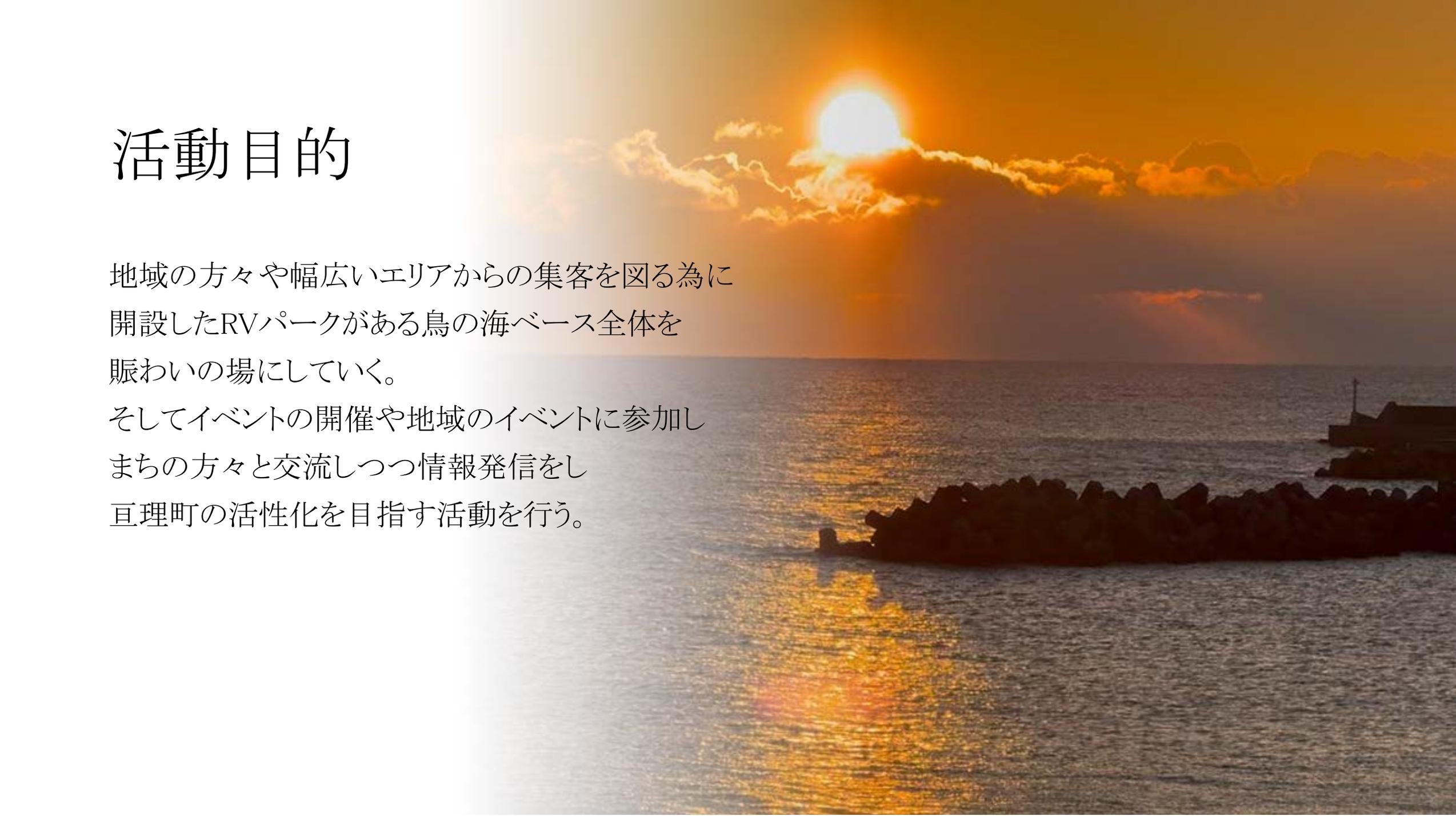
ヨガやアロマテラピーを楽しむのが好き



活動目的

地域の方々や幅広いエリアからの集客を図る為に開設したRVパークがある鳥の海ベース全体を賑わいの場にしていく。

そしてイベントの開催や地域のイベントに参加しまちの方々と交流しつつ情報発信をし亘理町の活性化を目指す活動を行う。





だれもお気に入りになる 鳥の海ベースに！

鳥の海エリアの賑わいと楽しさにあふれた魅力あるエリアにするために、鳥の海ベース内で提供するコンテンツの充実強化を図る取り組みを行う。

- 1.RVパークの整備を行いつつ 利用者が自由に使えるフリースペースを設けるなど施設改修に取り組み、雨風凌げる場所を作る。
- 2.鳥の海公園は犬連れの利用が多いことから、愛犬と利用でき飼い主同士のコミュニティの場所となるカフェを運営し目的地化を図っていく。
- 3.大型犬も利用できるドッグランの設置をしドッグイベントを開催

誰もが何度も訪れたいくなる

「鳥の海ベース」に造り上げる

活動内容

1. RVパーク整備

1-1.4/1～3/31利用実績

1-2.RVパークアワード表彰式

1-3.キャンプイベント

2. Café鳥の海ベースOPEN

2-1.カフェメニュー

2-2.貸切パーティー

2-3.ヨガイベント

3. ドッグラン設置

3-1ドッグイベント

4.鳥の海ベースインスタグラム

5. 地域イベント

6. 畑作業

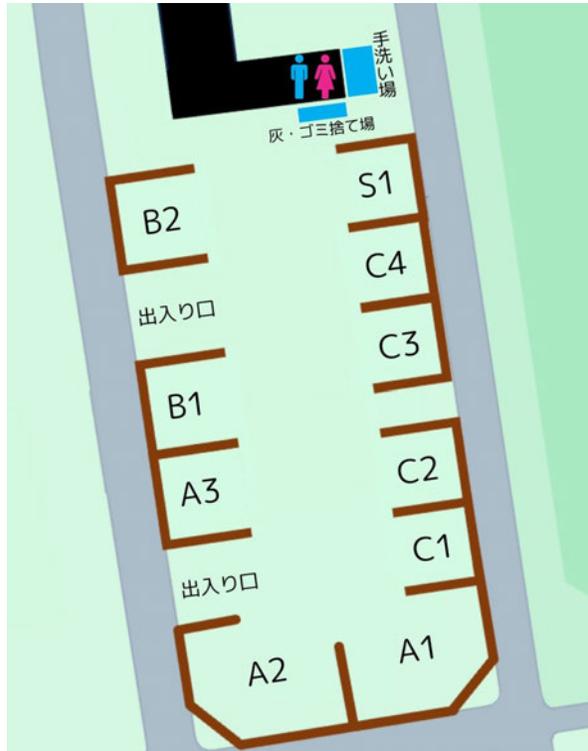


1.RVパーク整備

強風対策

①

鳥の海ベースは強風の日が多々あるので、区画分けを猛獣ネットから木の柵に改修
A-1区画からC-4区画までしっかりした柵に造り上げた



強風対策

②

強風により飛ばされない
重く頑丈なゴミ箱に変更

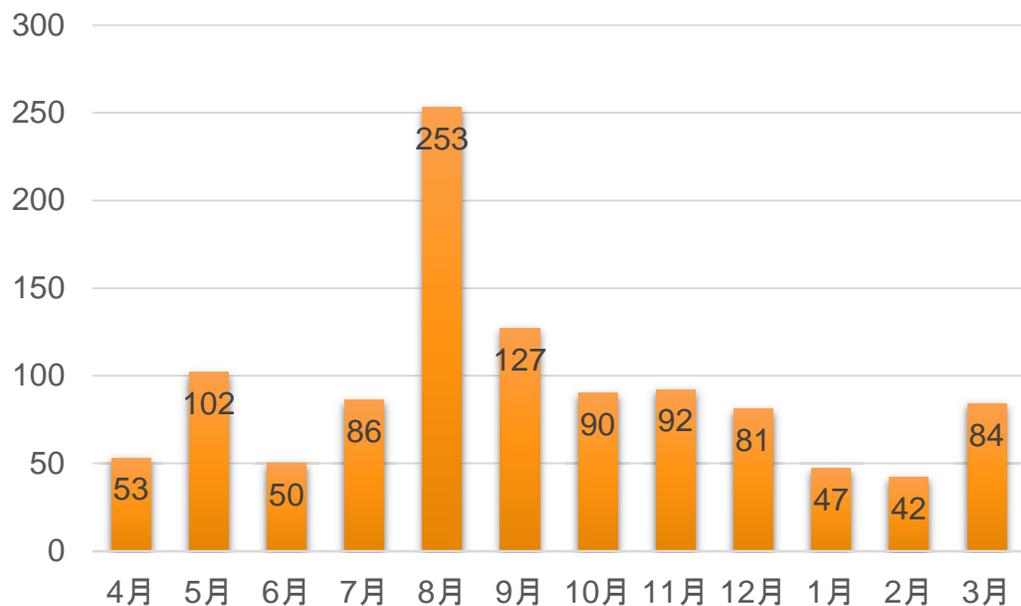


強風対策

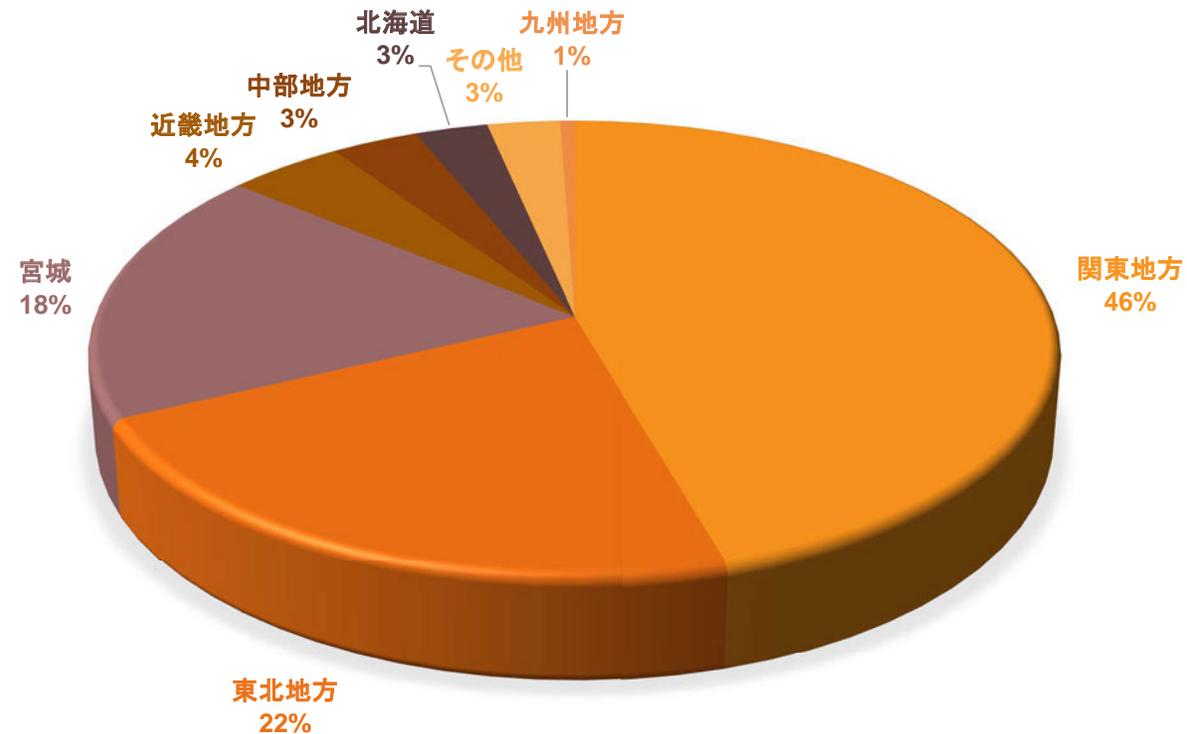
③

風が強い日など自由に利用できる
フリースペースを設けた

1-1. 4/1~3/31利用実績



利用者地域グラフ



利用者：合計1,107名

北海道から九州まで全国からたくさんの方に利用していただいた。中でも関東方面の方の利用が半数近くで。北海道旅行の帰りに立ち寄られ関東方面に帰られる方が何組もいた。またリピーターの方も多くいた。

1-2.RVパークアワード表彰式

R V-Park.jp賞

全国第3位にランクイン🏆

日本RV協会が全国のRVパークの認知度拡大・普及の拡大を目的に1年に一度2024年にした施設の中で

「あなたが最もステキだと思うRVパークは？」

をテーマに、一般ユーザーから投票を募り、高い評価を得たRVパークトップ10及びネット予約が多かったRVパークRV-Park.jp賞また新人賞を決める「RVパークアワード」の中のRV-Park.jp賞の第3位に選ばれた。

1.31幕張メッセで開催されたジャパンキャンピングカーショー2025での表彰式の様子🌟🌟





1-3. キャンプイベント

開催日：10月26日【参加者：14名】

開催日：12月30日【参加者：20名】

同日とも、RVパーク鳥の海ベースでイベントを行い改めてパークの認知度を高めた。

秋のイベントでは、私たちが畑で育てたお芋の芋掘り体験。

掘ったお芋はお持ち帰りしていただき準備したお芋で焼きいも作り。

キャンプ体験として薪割りを行い、最後にキャンプファイヤーをしてキャンプの魅力を知ってもらった。

冬のイベントでは、焚き火を囲み炎の温かさを感じながら焼きマシュマロや焼き芋作りを楽しんだ。

外で楽しむキャンプの魅力を体感してもらえたイベントとなった。



冬



春



夏



RVパーク鳥の海ベース 四季折々

春夏秋冬
地域の方々をはじめ全国からたくさんの方に利用していただいた
「とてもいいところね、また来ます！」との言葉
を多くいただいた。
そして閉鎖を惜しむ声をたくさんの方からい
ただき少しでも皆さんが安心してゆっくり休
める場所、そして亘理町の魅力を感じてもら
える場所を作り上げることが出来たのかなと
実感した。

※RVパーク鳥の海ベースは3月31日閉鎖

秋



2.Café鳥の海ベース

10.4 GRAND OPEN !!

鳥の海ベース内のカフェ施設を使用し愛犬と利用出来るカフェを運営。

来店されたお客さまのほとんどが愛犬と共に来店され、宮城の仙南方面には愛犬と入れるカフェが少ないとのことで多くのお客様に喜ばれた。

SNS・ペットコミュニティーでの口コミにより短期間で認知度が広まり賑わいの場になった。

※Café鳥の海ベースは3月23日で閉店





2-1.カフェメニュー

本場ドイツで修行しドイツ大会
燻製部門金賞を獲ったシェフの
手作りソーセージの盛り合わせ
や日替わりパスタ又スイーツ等
を提供



2-2.貸切パーティー

【クリスマス会：26名】

【わんちゃんのお誕生日会：10名】

【わんちゃんの親戚会：42名】



お客さまによるクリスマス会・わんちゃんのお誕生日会・わんちゃんの親戚会等のイベントがカフェ貸切によって行われ大いに賑わっていた。

多くの方が集まれる場所となり楽しいイベントによりたくさんの笑顔が見ることが出来た。





2-3.ヨガイベント

開催日：7月6日【参加者：9名】

開催日：12月16日【参加者：6名】

カフェでヨガとハンドトリートメントのイベントを開催
ヨガインストラクターを迎えて60分間ヨガを行った後
プロのエステティシャンからハンドケアを学んだ。
その後カフェのスイーツを食べながら楽しく
コミュニケーション。

参加者は心が癒されリラックス出来た！と元気に帰られ
皆さんに喜ばれたイベントとなった。





3.ドッグラン作り

鳥の海ベースを利用していただいたお客さまに貸出（無料）するのとドッグイベントで使用するため
大型犬でも安心して使ってもらえるように180cmの高さの柵に造り上げた

3-1.ドッグイベント

第2回 わたり犬のワン祭り

開催日:11月9日

【参加人数250～300人 ワンちゃん100～150匹が参加】

イベント当日は、天気にも恵まれ青空の下でワンちゃん用お洋服、ジャーキーのお店また肉球クリーム作り等のワークショップのお店を並べ、カフェでは軽食を販売した。

多くのお客様がお買い物やワークショップを楽しんでいる様子が見られ賑わいを見せていた。

楽しいコンテンツでは、ワンちゃんがピンを倒す「わんわんボーリング」おやつを置いて「待て選手権」また記録を競い合う「ドックレース」を行った。

ドッグレースには50匹のワンちゃんが参加し競い合った。

真っ直ぐに一直線に駆けてくるわんちゃんもいればクンクンと匂いを嗅ぎながら来たり途中でUターンしてしまうわんちゃんたちもあり、そんな可愛いわんちゃん達を見て笑顔がたくさん集まった時間となった。

今回は、予想上回る多くのワンちゃんたちが集まったイベントとなった。



4.鳥の海ベースInstagram

活動の様子やイベントの情報発信



【3/31現在】 投稿数:36
フォロワー数:909

性別



トップの地域

市区町村 国



年齢層

すべて 男性 女性



昨年度のフォロワーは男性女性半々だったがカフェを始めてから女性のフォロワーが増え始めた。

イベント告知の投稿により一気に拡散され多くのお客さまがイベントに参加された。

DMには、RVパークの当日の予約やカフェの予約が多く入った。

5.地域イベントに参加



【わたりふるさと夏まつり】

ソーセージといちごミルク等の販売を行った



【わたりマルシェ】

メロンパンのキッチンカーを出店

どちらのイベントも多くの人が集まり大変賑わいを見せていた



6.畑作業

今年度も様々な野菜を育て収穫の喜びを感じた。
さつまいもは、キャンプイベントの中で芋掘りを行い焼き芋作りを楽しんだ

まとめ

昨年、亘理町荒浜地区において地域の皆さまをはじめ幅広いエリアからの集客を目指しRVパーク鳥の海ベースを開設した。

本年度は、鳥の海エリアの更なる賑わい創出と魅力あるエリアにするため、鳥の海ベース全体を充実強化に努めた。

RVパークは、リピーターが継続的に増加し愛犬同伴での利用者も増加した。

カフェについても愛犬同伴可にしたことで、SNS・口コミを通じて短期間で認知度が向上し、多くの愛犬家に利用していただいた。

また鳥の海ベース内にドッグランを併設したことで、カフェのお客様の中には、開店から閉店まで1日を通して楽しんでくださった方もいた。

ドッグイベントでは、地域の皆さまに加え県外から多くの方々に参加していただき大盛況となった。

これらのことから多くの方が愛犬同伴可能な場所を求めていることを認識した。

3月31日での鳥の海ベース閉鎖を惜しむ声を多数いただき、皆さまが安心して休息できゆっくりと楽しんでいただける場所、そして亘理町荒浜の魅力を感じていただける場所が創出できたと確信し、移住の目的であった亘理町荒浜地区に多くの方が集い楽しめる場を提供できたと実感している。

2025.3.31をもって亘理町地域おこし協力隊を卒業しましたが
今後も亘理町で4年間の経験を活かし更なる地域の発展と再
度夢に向かって努めていきます！

